

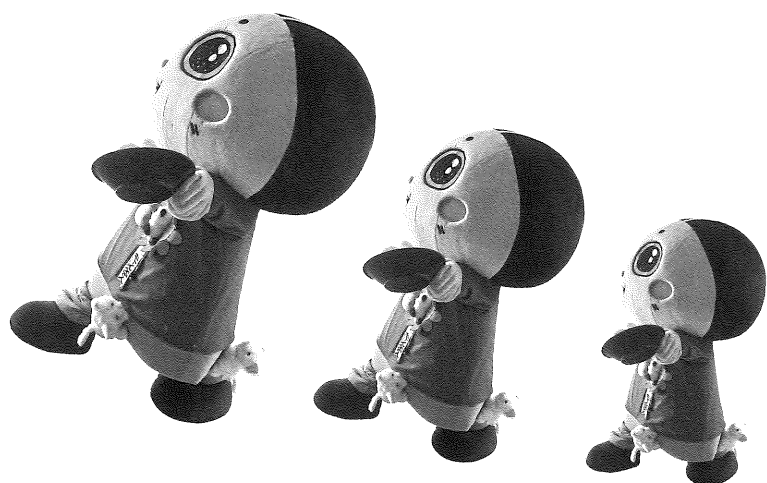
甲斐黄金村・

湯之奥金山博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡—中山金山

No.104

2023.6.9



いま、
砂金掘りの
楽しい季節とき

谷口初代館長、萩原前運営委員長、出月前館長との出会い 第3代館長就任にあたって

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 信藤祐仁

令和5年4月より第3代甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長に就任いたしました信藤（望月）祐仁です。どうぞよろしくお願いたします。

当館は国指定史跡湯之奥中山金山遺跡のガイダンス施設としての博物館です。開館に先立ち平成元年から3か年湯之奥金山遺跡の総合学術調査が旧下部町（現身延町）において実施されました。伝承の中でのみ曖昧模糊としていた金山の歴史像を科学的に明らかにし、考古学の発掘調査を中心に文献史学や民俗学、地質学、鉱山技術史学などの研究者が学際的に参加して調査団を組織した総合調査で、先行していた黒川金山遺跡とともに歴史学研究において学史に残る出来事であったと評価されています。

この調査団の団長は、当時帝京大学山梨文化財研究所長で初代の当館館長をされた谷口一夫先生でした。また、調査団の体制づくりから実際の調査の先頭に立たれたのが当博物館運営委員会の委員長を開館当初から長く務められた萩原三雄先生でした。

30数年前の当時甲府市教育委員会にいた私も調査員として、中山金山遺跡の発掘調査や湯之奥3金山（中山金山、茅小屋金山、内山金山の総称）のうち内山金山の現地調査や見取図の作成、旧下部町内の民俗調査、富士宮市麓金山の踏査などに参画しました。また、山梨県史の編纂の時に中世考古学の関係で福井県のほか県内外の金山調査にも参加させていただいたことが、当館に勤務させていただく機縁になったと考えております。

初代館長の谷口先生は山梨県考古学界の草分け的存在で、私が甲府市教育委員会当時、

国指定史跡武田氏館跡や朝氣遺跡の埋蔵文化財の発掘調査で大変お世話になりました。私が就職した昭和50年代半ばは、まだ行政に埋蔵文化財の専門職員が少なく、山梨県と1、2の市町村でしか配置しておりませんでした。業界紙の編集長をされていた先生は時間的に自由の利く立場であったので、甲府市では開発に伴う発掘調査を以前からお願いしており、一緒に汗まみれになって発掘調査の現場に当たりました。現場の実務や整理作業の方法などを伝授していただきました。先生は活動的で文化関係だけでなく経済界にも幅広い人脈をお持ちであり、まだマイナーなスポーツであったペタンクを普及させるべく努力をされていた多趣味人であったことが思い出されます。

萩原三雄先生とのご縁はさらに遡ります。私が高校生だった時、勝沼氏館跡の発掘調査に参加して以来、甲斐丘陵考古学研究会に入れていただいて土器や石器の収集家で考古ボーイであった私を、「早川町誌」の編纂に伴う町内の遺跡分布調査や御陵平遺跡の発掘調査に誘っていただきました。甲府市に奉職した契機となったのも、当時甲府市役所におられた萩原先生のご推挙があったからです。県や市の文化財保護審議会、武田氏館跡や甲府城跡の保存や整備についてだけでなく、公私ともに多方面にわたりご指導をいただきました。山梨文化財研究所の所長を谷口館長から引き継ぎ、中世城郭跡や鉱山史研究に多大な功績を残された萩原先生は幅広い人脈から、学際的に多くの人を巻き込んでみんなでいろいろな方面から歴史を究明する姿勢を一貫して貫かれていました。その関係で私もいろい

ろな調査等に声をかけていただき、当「湯之奥金山遺跡」や「丹波山諸金山」、「山梨県史」、「山梨県の城」などの調査や執筆での参画のお誘いは、幅広い視点と視野を身につける原点となりました。

出月2代館長とは、前述した御陵平遺跡の発掘調査が最初の出会いですので、長いおつきあいをさせていただいております。当時大学生だった出月前館長は、山梨県の小学校の教員から埋蔵文化財センターへ異動し所長もされ、埋蔵文化財に限らず幅広くご指導をいただきました。私が中道支所に異動したときは旧中道町在住である前館長は、甲府開府500年の記念誌編集や地区の散策会で中心となって活躍していただきました。

このように甲斐黄金村・湯之奥金山博物館に関係する諸先輩方とのご縁があって、お世話になることになりました。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や各種イベントの中止など制限がある中で昨年当館は開館25周年を迎えました。金山史研究、金山遺跡研究に特化した国内唯一の専門博物館として、全国の金山関係資料の収集保管と展示とともに調査研究を進めてきております。

一般の観光客や専門の研究者だけでなく、地域の皆様方にもロビーでの展示会や地域に密着した館長講座や散策会を実施し、地域の歴史・文化を見つめなおす機会を継続して提供してまいりたいと考えております。

最近では感染症が収束傾向となり、感染症第5類に移行したことから社会経済活動もコロナ前に戻りつつあることから、より一層皆様に満足していただける運営にしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈信藤祐仁館長プロフィール〉

しんどう ゆうじ。1958年生まれ。

國學院大學文学部史学科考古学専攻卒。

甲府市教育委員会文化財主事として、武田氏館跡の発掘調査・整備をはじめ、埋蔵文化財発掘調査・一般文化財の保存と活用に従事。

元湯之奥金山調査団員、富士山学術調査員、「甲府市史」・「山梨県史」等調査員、『戦国武将武田信玄』、『定本富士川』、『定本山梨県の城』、『山梨百科事典』、『角川地名辞典—山梨県—』等分担執筆、山梨郷土研究会理事、武田氏研究会委員、日本考古学協会員。



信藤館長によるブログ「シン・ドウノヘヤ」開設！ぜひご覧ください。



8/7 ㊦ 夏休み自由研究プロジェクト in 金山博

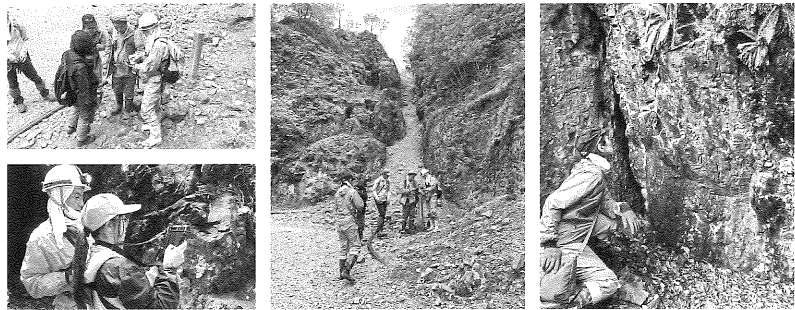
自由研究について悩んだら金山博物館へ！みんなの「やってみたい！」「チャレンジしてみたい！」を応援するよ。信藤館長に相談してみよう。

■ 調査研究活動

5/26 金 生野銀山遺跡調査

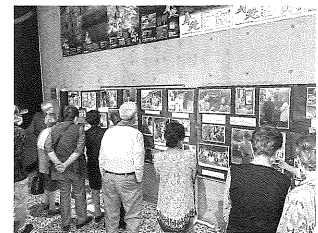
生野銀山は、16世紀半ばに本格的な銀行脈の採掘が始まりました。明治期には日本で最初の官営鉱山となり1973年まで稼業し、その鉱山跡は現在、観光利用として公開されています。現地は坑道跡だけでなく、複数存在する脈のひとつ「慶寿鍾」を代表とする溝状に掘られた跡がいくつも残っており、周辺の銀山跡地としての山々のようすを間近で見ることができるので迫力があります。

この日、比較研究の一環として兵庫県朝来市にある生野銀山へ小松・伊藤両学芸員が赴きました。管理・公開を行っているシルバー生野（株）のご協力のもと、当館と共同研究を行っている久間英樹氏や九州大学総合博物館の中西哲也氏らとともに、一般公開を行ってない箇所を測定を行いました。測定には、茅小屋金山の調査でも活用している iPhone などの情報端末機器に搭載された3次元レーザ測定機能を用いました。鉱山の絵図は当時のようすを知る手掛かりとしてたいへん重要な資料ですが、上面から俯瞰したものが多いため、それぞれの位置関係や標高差などの情報は取得しにくいといえます。しかし、この手法により、山中のいたるところに残る遺構の位置関係やその規模を明確に把握することができます。今回は生野銀山を舞台として、調査手法の有効性を再確認できたとともに、各地の鉱山跡との比較研究材料をまたひとつ充実させることができました。今後もこの手法を用いて湯之奥金山の調査も継続していきます。



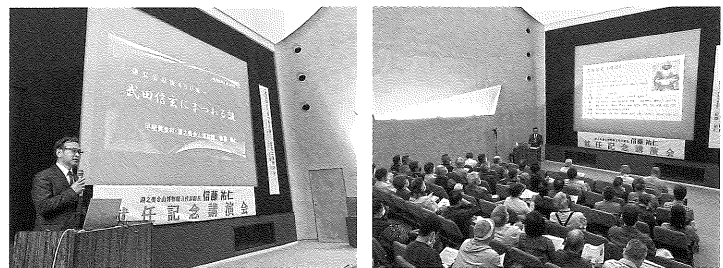
■ 活動報告 01 3/11 土～6/11 日 下部温泉郷写真展

地元下部区主催の下部温泉郷写真展第3弾が、当館エントランスにて開催されました。今回は昭和期のにぎわいをテーマとし、芸能人の湯治や映画撮影ロケのようすなどを収めた約60点の写真が並びました。お住まいの地域に関わらず多くの方が足をとめて懐かしさとともにご覧いただくことができました。



■ 活動報告 02 4/30 日 信藤館長就任記念講演会

開館26周年を迎えた4月末、新館長の就任を記念して講演会を開催しました。信藤館長は以前、甲府市武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）に勤めており、今年は信玄公没後450年をむかえたことから「武田信玄にまつわる



謎－信玄公没後450年－」と題し、話がなされました。信玄公に対するこれまでの定説に対して、最近の研究成果から新たな信玄公像が描かれつつあることに、聴講者は驚きとともに終始聞き入っているようすでした。定員50人は満員となり、初めて足を運んだ方も多くみられたことから博物

館利用者層が広がったよい機会となりました。

今後も信藤館長による講座やおでかけイベントなどを実施していく予定です。館HPや当誌にてお知らせしていきますので、ぜひご参加ください。

■活動報告 03 4/29(土)～5/7(日) ゴールデンウィークのにぎわい

コロナ禍の制限が落ち着き、観光地における人流が戻ってきています。当館でもその傾向がみられ、特にゴールデンウィーク中は開館時間前から入り口に行列ができたり、砂金採り体験では待ち時間が発生する程の盛況ぶり、大いに賑わいました。なお、今年度の5月はコロナ禍前の入館者数を大きく上回り、3,000人を超えるお客様に利用いただくことができました。

■活動報告 04 校外学習続々！

今年度も校外学習のシーズンがやってきました。小中学生を中心に博物館利用が増えています。中でも5月18日(木)には、県内小学校の校外学習依頼を受け、中山金山遺跡を案内しました。1～6年生まで約30人が参加し、山金山のはじまりの場所で、その歴史を肌で感じてもらうことができました。出発前に館内の精錬場テラスを再現したジオラマ展示を見学したことで、より一層理解が深まったようでした。また、山や登山にも詳しい信藤館長による自然に関する解説もなされ、金山の歴史だけでなく自然にも興味関心を高めるよい学習の時間となりました。



■もーん父さん 活動トピックス

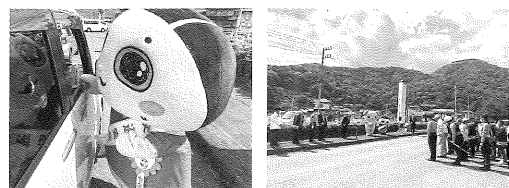
5/6(土) 富士川クラフトパーク 子どもまつり

富士川クラフトパークで開催された「子どもまつり」にももーん父さんが参加しました。当日は天気にもぐまれ、大型連休中ということもあり、お子さま連れの家族が多く訪れていました。パーク内のバラや鯉のぼりなど、この時期ならではの景色とともに子どもたちと触れ合いを通して博物館をPRしてきました。



5/11(木) 春の交通安全運動街頭指導

身延町の観光大使とともに反射材大使も務めるもーん父さん。国道52号沿いで実施された街頭キャンペーンに参加し、南部警察署や地元の保育園児たちと一緒に車のドライバーに安全運転を呼びかけました。



5/27(土) 本栖高校文化祭

アニメ「ゆるキャン△」モデル地(旧下部小中学校跡)で開催されたキャンプイベントに、もーん父さんもお声がけをいただきました。地元特産品の販売や校舎開放など、たくさんの企画で賑わった2日間。イベント終了後は多くの方が博物館に来てくれて、もーん父さんもお機嫌でした。

今年も楽しい思い出作ろう！！



夏休みイベント2023

7/23^日 おしえて☆みやもん先生！第15回 化学実験教室

要申込

宮本一弘先生（開成中高理化学教諭）が化学の不思議を楽しく・わかりやすく教えてくれるよ。

場 所：博物館1階 多目的ホール

定 員：各実験15名（対象：小学～中学生）

実験内容：1時限（9：30～）身のまわりの光るものを探そう！

①シークレットレター ②暗闇で浮かび上がる絵

2時限（11：30～）おもしろ科学実験

①冷却パック作ろう！ ②シャボン玉を浮かべよう！

3時限（13：30～）不思議なカラーマジック ①消える絵！？ ②色の魔法

参加費：各実験200円（実験材料費として）

7/29^土 第23回 砂金掘り大会

要申込

今夏の「砂金掘り王、に輝くのは誰だ！？」

場 所：博物館専用駐車場

定 員：200人まで ※定員になり次第締め切り

参加費：一般部門（高校生以上の男女）@ 1,000円

ジュニア部門（小中学生）@ 500円

※競技運営・安全対策に充てさせていただきます

日 程：9：30～ 受付

10：00～ 開会式

（トロフィー返還・主催事務局挨拶・ルール説明他）

10：25～ 競技開始

（ジュニア部門、男女一般部門予選 全10試合 ※1試合 最大20人まで）

15：30 すべてのプログラム終了予定

種 目：ジュニア部門（小学生～中学生）

6kg / 10分

男女一般部門（高校生以上の男女）

10kg / 10分

決勝戦（男女一般部門上位20人）

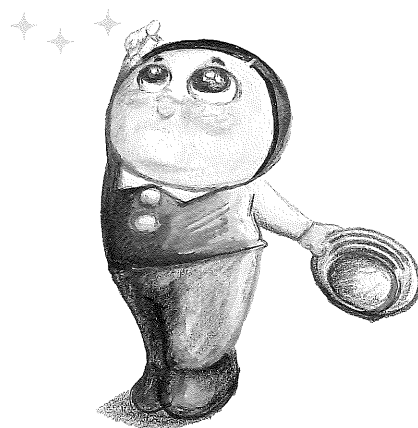
16kg / 15分

頂上決戦（男女一般部門1位 vs ジュニア部門1位）

8kg / 5分

申込方法：メール（yunoking@town.minobu.lg.jp）のみ

本文に、住所、氏名（よみかた明記）、学年もしくは年齢、参加種目、開催日まで必要事項の連絡が取れる連絡先をご記載ください。なお、代表者が複数人分の申し込みをする場合は、全員分の上記情報をお願いします。



7/30^日 第20回 砂金甲子園！東西中高交流砂金掘り大会

要申込

今年も全国各地から中高生が集結！記念すべき20回目は市川学園、大妻、開成、逗子開成、桐朋、灘、明大中野、山梨学院などが参戦予定。学校対抗熱い戦いから目が離せません！

場 所：博物館専用駐車場

日 程：8：30～ 受付

9：00～ 開会式

(ルール説明・注意事項・デモンストレーションなど)

9：20～ 競技開始(団体戦・個人戦)

11：50～ すべてのプログラム終了予定



8/11^{金祝} 第23回 激烈☆おやこ金山探検隊

要申込

毎年大人気のイベント。今回の舞台は「中山金山」です。現場で金山の歴史を体感しよう。遺跡登山の後は、純銀地金を使ってオリジナル甲州金づくり☆

定 員：10名(対象：小学中学年～中学生)

参加費：隊員1人に付き2,000円(地金材料費として)

開始時間：7：40 博物館集合、17：30 解散予定

※保護者は定員に含まれません。



※すべての夏イベントは、天候やその他やむを得ない状況により、変更の可能性があります。最新情報は、当館HP またはお電話にてご確認ください。

・・・ 夏季開館時間についてのお知らせ ・・・

開館時間は午前9時～午後5時(最終受付は午後4時30分)までです。ただし、イベント実施日やお盆期間など、下記日程で開館時間午前9時～午後6時(最終受付は午後5時30分)とさせていただきます。夏の博物館も存分にお楽しみください！

☆開館時間延長予定☆

7月15日(土)～17日(月・祝)、22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)

8月5日(土)、6日(日)、11日(金・祝)～16日(水)、19日(土)、20日(日)

7 July						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8 August						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

特別講演会

九州大学総合研究博物館 ×

湯之奥金山博物館

歴史を動かした 革新的 マイニング ヒストリー



館 HP 内
特設ページ



久間先生
出演番組
YouTube

- 10:00 ~ 開会挨拶 信藤 祐仁 (湯之奥金山博物館館長)
- 10:10 ~ 講演 1 中西 哲也先生 (九州大学准教授・分析技術開発系)
「湯之奥茅小屋金山採掘跡にみられる鉱石の特徴について」
- 10:40 ~ 講演 2 小松 美鈴 (湯之奥金山博物館学芸員)
「茅小屋金山遺跡の採鉱跡に関する一考察」
- 10:55 ~ 講演 3 伊藤 佳世 (湯之奥金山博物館学芸員)
「湯之奥茅小屋金山遺跡の採掘域調査」
- 11:10 ~ 講演 4 久間 英樹先生 (九州大学総合研究博物館専門研究員)
「みんなで楽しく鉱山遺跡調査～ iPhone & iPad 編～」



日時 ▶ 6月17日(土) 午前10時～12時
場所 ▶ 博物館2階 映像シアター
定員 ▶ 50名 ※定員になり次第締め切り
申込 ▶ 金山博物館 受付 または お電話にて

編 | 集 | 後 | 記

新館長が就任してから2ヶ月が経ちました。みなさん、どんな方かとっても気になりますよね。当号でも館長によるコラムやイベント等の紹介をしていますが、信藤館長は山登りをよくされているとてもハツラツとした方です。「先日〇〇山に登ってきました…」なんていう会話もしばしば。金山をフィールドとした当館にとって、たいへん心強いリーダーです。それだけに、今年度は、遺跡の情報をよりたくさんお伝えできたらと思っています。引き続き、よろしくお祈いします(^ ^)

甲斐黄金村・
湯之奥金山博物館だより

第104号
令和5(2023)年6月9日

発行 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HP ▶ <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>
E-mail ▶ yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん ▶ Twitter & Facebook

